

やさかだよい1 No. 113

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2026年(令和8年)1月1日



1月号の記事

新年のあいさつ

協議会長・八坂支所長 …P2
協議会、地域の活動から …P3~P4
コミュニティ・スクール …P5
山留の風/たけのこ保育園 …P6
産業建設係から …P7

八坂公民館 …P8
文化祭/秋まつり …P9~10
タイムカプセル開封式 …P11
話題の八坂人 …P12

10月25日(土)八坂秋まつりに合わせてタイムカプセル開封式を行いました。20年振りのクラスメートや恩師との懐かしい再会の場面もあり感動しました。

八坂地区の人口:664人(男 339人・女325人) 八坂地区の世帯: 342 世帯 (令和7年12月1日現在)



新年のあいさつ

八坂地域づくり協議
会長 竹本 明信

新年あけましておめでとうござ
います。年頭に当たり新年のご
挨拶を申し上げます。

日頃は、当協議会の事業につ
きましてご支援ご協力を賜り心より
感謝申し上げます。

昨年は、4月に県北部を震源と
する地震が発生し八坂地区でも震
度5を観測し、その影響で住宅の
屋根瓦が落ちたり、道路の石垣が
崩れる等の被害がありました。ま
た、藤尾覚音寺の重要文化財木造
持国天立像も一部破損する被害に
あいました。幸いにも人的な被害
がなく、安堵したところです。今
後も地震や大雨等による自然災害
の心配もあることから、万が一に
備え防災訓練等の必要性を改めて
強く感じたところです。

協議会関係の主な事業では、八
坂ビューポイント整備の活動も春
には、八坂商工倶楽部との共同に
より継続して相川、大曲の県道沿
いの花植えを行い、夏には八坂ボ
ランティア隊の皆さんに応援いた
だく中で、唐花見温泉原遊歩道の塗
装等整備を行うことができました。

地域間交流事業であります

「八坂秋まつり」では、青竜太
鼓の演奏やお楽しみ抽選会、打
ち上げ花火なども行い、大勢の
皆様がそれぞれに楽しみ、交流
を深めることができました。

また、昨年は合併20年という
ことで、平成17年11月に行われ
た八坂村閉村記念式典時に八坂
支所敷地内に埋設した、タイム
カプセルの開封式を行いました。
このタイムカプセルには、当時
の保育園児、小中学生や、地域
住民の方々が将来に向けての思
いを込めた手紙や品物が数多く
入れられており、参加された皆
様は、当時の懐かしい思い出話
等に話が弾み、思い出深いひと
時になったことと思います。今
後とも、協議会関係等の事業に
対しまして積極的なご参加ご協
力をお願いいたします。

八坂地区でも過疎化、少子高
齢化が進み、自治会活動の停滞
が心配される状況もありますが、
今後とも地域の皆様が安心して
住み続けられるよう取り組んで
まいります。

本年が皆様にとりまして、良
い年となりますようご祈念申し
上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のあいさつ

八坂支所長
傳刀 瑞

新年あけましておめでとうござい
ます。年頭にあたり、新年のご挨拶を申
し上げます。

日頃は、市が実施する様々な事業の
推進にご理解、ご協力を賜り厚く御礼
申し上げます。

また、地域行事や防災活動、環境美
化や道路愛護事業など積極的なお取り
組みをいただき、心より感謝申し上げ
ます。

さて、昨年4月の着任から早いもの
で10か月過ぎようとしております。

振り返ってみますと、昨年4月18日、
市内において最大震度5弱を観測した
大町北部を震源とした地震では、人的
被害はなかったものの、住宅等の屋根
瓦の落下や外壁の破損、石垣の崩落や
墓石等の転倒などのほか、国の重要文
化財である八坂藤尾地区、覚音寺の木
造持国天立像の破損が確認されまし
た。

今後、地震や地球温暖化を要因と
した大雨等による災害の心配もあるこ
とから、万が一に備えた防災訓練への

参加、食料、水などの備蓄品のほか、
カセットコンロ等による熱源の確保
に加え、携帯トイレの準備を行うなど
万全な態勢を整えるとともに、災害に
強い地域・集落づくりに磨きをかけて
いくことが重要と考えております。

また、昨年6月には、クマによる痛
ましい人身事故が発生し、尊い命が失
われる事態となりました。改めまし
て、被害に遭われたご遺族の皆様に対
しましてお悔やみ申し上げますと
もに、被害に遭われた方にお見舞い申
し上げます。

クマによる被害は、全国各地でも深
刻な問題となっており昨年2025
年の今年の漢字では、「熊」となった
ほどでもありました。クマ対策につ
きましては、関係部署の更なる連携や体
制整備、また、様々な予防策が必要で
あると強く感じているところでござい
ます。

本年も、微力ではございますが、皆
様と協働しながら、安心して住み続け
られる地域づくりに取り組んでまい
ります。

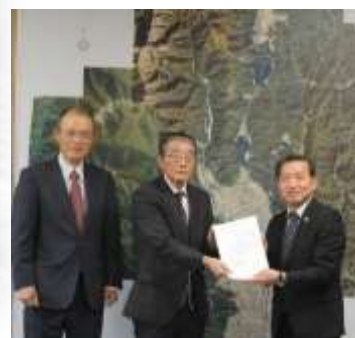
結びに、八坂地域の皆様にとりまし
て、本年がより良き年となりますよう
ご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

地域づくり協議会の活動から

期日	区 分	内 容 等
10/31	市長要望	・ 正副会長、事務局
11/11	やさかだより編集会議	・ 令和 8 年 1 月号記事の内容について
11/14	八坂太陽光発電施設合同現地踏査	・ 城南エナジー・藤巻建設

10月30日竹本会長、塚田副会長と事務局で大町市役所にて牛越市長へ要望書を提出し、市長と担当部署の方たちから説明を受けました。また11月14日は協議会の役員の皆様と八坂地区太陽光発電施設の現地踏査を行いました。

11/14 八坂太陽光電施設現地踏査



10/31 市長要望

11月19日（水）山手・川手体操教室交流会を開催しました



11月19日水〇 山手・川手体操教室交流会を開催しました。池田展望美術館で美術観賞を行い昼食を楽しんだ後、帰路につきました。参加された皆様は、数年ぶりにお会いする方もおり、楽しんでいただけたようです。



切久保自治振興会～ふれあい学級

12月14日(日)は切久保公民館で盛りだくさんの行事。まずはお正月飾りを自作で「わら細工」から始まりです。子供たちは熟練の先生たちから丁寧に指導を受け、真剣な面持ちで製作に没頭しています。大人たちには目を向けると「あれどうだっけ?」といった声があちらこちらで聞こえます。毎年実施していますが前回から1年も経過すると記憶もあいまいになってしまつてしまうようです。その後は「避難訓練」を実施。消火器の扱いや119番への模擬通報、家庭内での常日頃からの避難の心構えや準備など、普段の生活の中では忘れがちなことですが、こういった機会があると改めて必要なことだと思わせてくれます。

最後は八坂についての学習会。日本列島の生い立ちから始まる壮大な自然誌の中で八坂の成り立ち、そこに住み着いた人々の日本史の中で織りなす八坂の歴史、プロジェクトの画面で詳しく知ることができました。さらにおまけで昔懐かしビデオ上映。平成3年に撮られた切久保諏訪社の獅子舞の映像を鑑賞。少々粗目の画面に映し出される人々の顔を見ては懐かしがったり若かったり。いきなり34年前に、タイムスリップ!

切久保自治振興会

立花康一



わら細工講習会、大掃除、慰労会～野平自治振興会



野平自治振興会は12月14日にわら細工講習会と野平生活改善センター、山村広場の掃除を行い、その後婦人部の皆さんに用意していただいたうどんなどをいただきました。ささやかな慰労会を開きました。

地域の方には、日頃からラベスター園整備等で協力していただいていることから地域の皆さんに少しでもお返しができるならと役員の方が用意しました。

慰労会が終わったら全員で大掃除を行い、きれいになった玄関にしめ飾りを取り付けてお正月を迎える準備が整いました。

野平自治振興会

寺島長一

11月14日（金）

1年生から9年生、保護者、地域の皆さんが12のグループに分かれ、「今やってみたいこと」「昔の行事」「これからできること」をテーマに話し合いを行いました。

話し合いでは、学校でのお泊まり会やキャンプファイヤー、宝探し、映画鑑賞会、親子バンドなどの特別な体験のほか、星空観察や雪遊び、山菜・キノコ採り、森林整備、スキーやスノーボード体験など、自然や地域を生かした活動のアイデアもたくさん出ました。さらに、ゴミ拾いや雪かき、地域の文化体験、地域の方との授業や音楽交流など、地域と協力した活動についての意見もありました。学校生活では、弁当の日を作るなど、子どもたちがやりたいことのアイデアも出ました。全校の児童・生徒、地域の皆さん、職員が一緒に、

交流する楽しい時間となり、「楽しかった。」「やりたいことをたくさん言えた。」という声も聞かれました。

今後ともこうした交流を大切に、子どもたちの学びや活動の幅を広げていきたいと思っています。

郷土ふれあい体験学習が開催されました！

11月29日はPTA・公民館・学校の三者共催の「郷土ふれあい体験学習」が、開催されました。今年は、6つの講座が開設され、講師の皆様の丁寧なご指導のおかげで、児童生徒、そして保護者の皆様にとって、楽しく、充実した会になりました。ご指導をいただいた皆様、ありがとうございました。

コミュニティ・スクールだより おらほの学校やさか

✦八坂小中学校前期・後期



第50回・収穫祭



11月15、16日に記念すべき第50回収穫祭を開催しました。収穫祭は農作物の収穫の喜びや日々の感謝を伝える場で、今年も大いに盛り上がりしました。

1日目の感謝の式では、祭壇に収穫物をお供えし、神様に収穫の感謝の気持ちを捧げました。また、学園生がこれまでの農作業を農事暦として発表し、学園生が春から育ててきたお米を「山留米」として保護者に渡しました。

午後からは、個々の興味や好きなことについて取り組んだ個人体験発表と太鼓や民舞を交えた創作劇の発表を行いました。個人体験発表では、地域の方から知識や技術を教わり、個性豊かな発表となりました。劇の発表では、来賓の方や保護者からは笑いや拍手が飛び交い、お褒めの言葉もいただきました。学園生は練習の成果を十分に発揮できたようです。

そして夜には、受け入れ先の農家さんや修園生と一緒に会食会を行いました。ここでの演目発表は修園生も交じり、とても賑やかな雰囲気でした。

2日目は、保護者が主体となって模擬店を実施しました。学園生も調理を手伝ったり、「美味しいよー!どうですか?」と売り子をしたりと、協力して販売を行っていました。さらに、農家さんが主体となって農作物の販売も行われ、旬の野菜や漬物など、ここでしか買うことができないものばかりで、こちらも大盛況でした。

この2日間を通して、地域の方との交流がさらに深まり、濃密な時間となりました。今年も皆様のご協力のおかげで無事に収穫祭を終えることができました。ありがとうございました。

たけのこ保育園

2月4日(木)たけのこ保育園で毎年恒例の発表会(お楽しみ参観)が行われました。当日は多くの保護者が来園し会場には、子どもたちの元気な歌声や笑顔があふれました。子どもたちに親しみのある昔話を題材に歌や台詞、ダンスなどを交えながら楽しい世界が繰り広げられました。体いっぱい使って表現する姿に見ている保護者から自然と笑顔がひろがりました。



発表会(お楽しみ参観)とすこやか広場運動遊び教室
専門指導員を招いて運動遊び教室が開かれました。
子どもたちが楽しみながら転がったり、ジャンプしたり潜ったりして体を動かしています。最後に、みんなで元気いっぱいマッチョポーズを披露して盛り上がりしました。

◎八坂支所産業建設係からのお知らせ

指定管理者の決定について

明日香荘、さざなみ、ふるさと体験館の3施設について、令和8年度以降の指定管理者が決定しました。

明日香荘については新たに株式会社フードサービスシンワ様（小海町）が指定管理者となりました。新たな体制を迎えるにあたり、営業に向けた準備等でお不便をおかけすることもあろうかと思いますがご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

さざなみ、ふるさと体験館については現在の指定管理者が引き続きとなり、さざなみは株式会社ポップ様（白馬村）、ふるさと体験館は地元団体の八坂元氣会様にそれぞれ決定しました。地域の皆様には、各施設の運営にご理解いただくとともに、変わらぬご愛顧をいただきますようお願いいたします。

各指定管理者からひとこと



株式会社フードサービスシンワ

このたびは明日香荘の運営をお任せいただくことになりました。八坂の皆さまとの交流を大切に、観光で訪れる方々にも親しまれる温かい場所をめざして取り組み組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社ポップ

みなさまこんにちは、引き続き管理をさせていただきます事になりました。よろしく願い申し上げます。去年よりサウナが復活しています。ご利用お待ちしております。



八坂元氣会

（ふるさと体験館指定管理者）
体験館の指定管理を受けている八坂元氣会と申します。蕎麦打ちや灰焼きおやき等、八坂の食文化を伝承し広く伝えていくことを目的としているボランティア団体です。会員募集中です。仲間になっても一緒にそば打ちしましょう。



八坂公民館から

八坂公民館文化財巡り



役の行者（えんのぎょうじゃ）像



弘法大師の石仏



伊藤悦男さん



文化財センター所長
勝野実さん

11月8日（土）大町文化財センター共催、八坂塾『文化財巡り』を行い、市内外から17名の方が参加しました。当日は八坂公民館に集合し、険しい山々の状況、『医王谷飯綱城』と『弘法大師の石仏』等の位置をジオラマ模型で確認して、「いざ出発」。八坂トレーニングセンター駐車場まで車で移動し、そこからスタートしました。塩沢川の上流を目指し、途中、明日香荘の源泉を見学しながら大塚ダムにて休憩。そこには「筒粥の神事」に使用する「ヨシ」のほか「カヤ」も有り、植物に詳しい地元講師（伊藤悦男さん）から相違点や特徴など詳しい説明がありました。

その後、旧桑梨集落にて休憩をとり、伊藤さんから村史の伝説にもある『医王谷』の伝説について説明を受け、その後、『弘法大師の石仏』に到着し昼食を取り、今日の最大目的地の『医王谷飯綱城』跡に到着、文化財センター所長（勝野実さん）から、この城跡は確かな工法で人工的に作られており、そのため城跡後は、神社として活用されたのではないかと話があり、伊藤さんからは筒粥の神事の説明がありました。

犀川を挟んで対岸側は、松代藩の領土であったことから、八坂の山々の多くは、戦国時代には、数々の「見張り場」としての「山城」があった事が、よくわかる一日でした。



『しめ縄作り集中講座』

かつては、各家庭で『しめ縄』をお爺さんやお父さんが作り、玄関や神棚に飾る姿が普通に見えましたが、今では70歳代の方さえ、『しめ縄』を作れる人が、少なくなりました。各分館でも12月の行事としてわら細工講座を行っていると思いますが教える人もない状況に危機感を感じ、わら細工の名人の松井清家さんを講師に依頼し3回に渡り『しめ縄作り集中講座』を開催しました。

体操教室 『元笑気クラブ』



八坂公民館は、八坂支所と共催で10月21日（火）午後6時30分から、毎週火曜日5回に渡りストレス解消・運動不足対策のための体操教室を実施しました。

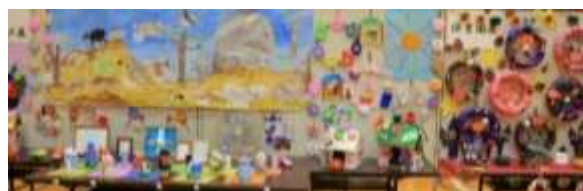
5回の内2回は、切久保在住の福野先生のヨガ教室、3回は降旗先生にスクワットなど自宅で出来るトレーニングを教えていただきました。

参加者の中には、「筋肉痛になりました」など弱音を吐く方もいましたが、楽しい教室になったとの声が多く聞かれた教室になりました。

八坂地区文化祭



10月25日、26日に八坂地区文化祭が開催されました。
1日目は夕刻より八坂秋まつり、タイムカプセル開封式も併せて開催され、にぎわいました。
展示ではシニアクラブの苔玉、陶芸クラブの作品、高齢者サロン「縁が和」の木彫り他、八坂公民館の講座の、クラフトバンドのバッグ、竹細工など地域の方の力作と、保育園の園児や八坂小中学校の児童、生徒さんの作品など盛りだくさんで見ごたえがありました。ご自身の作品の前でお友達に説明する場面も多く見かけました。2日目はにぎわい広場やママさん達のフリーマーケットなどもありステージの合間に見て回るのも楽しみでした。



2日目のステージ発表の日、あいにくの雨にもかかわらず、にぎわい広場に出店された皆さんからは、『今年は参加者が多いね』との声も聞こえて早々に売り切れるお店も多くみられました。ステージ発表では、可愛い、たけのこ保育園の園児のダンスに始まり八坂小中学校後期課程の生徒さんの見事な合唱や小学生の歌と個人発表、小学生のダンスチームによる見事なダンスの披露や地域の方のフラダンス、八坂音頭、全国吹奏楽大会に毎年参加している後期課程の倉嶋先生による『ピアノ演奏』など新しい取り組みのステージ発表があり、観客の中には「素晴らしい、感動した」とおっしゃる声も多く聞こえてきました。





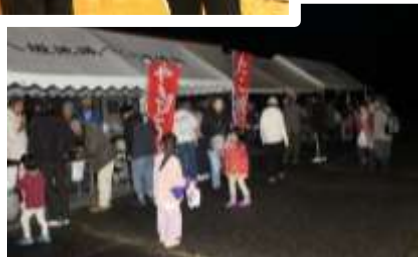
八坂小中学校前期課程個人発表から



八坂秋まつり・タイムカプセル開封



一等賞は伊藤悦子さん
おめでとうございます



バラエティショー | Mr.Dai |



様々な技で子供たちを楽しませてくださいました。
お楽しみ抽選会は自分の番号を呼ばれるのをドキドキしてお待ちました。当選した方はおめでとうございます。



タイムカプセル
開封記念特製
クリアファイル
来場者の方にプ
レゼント

事前に八坂支所の方に掘り出していただきました



10月25日、青竜太鼓の演奏でオープニングセレモニーが始まり「八坂秋まつり」と「タイムカプセル開封式」を開催しました。開封式は大町市有線放送の土屋さんに司会進行をお願いしました。タイムカプセルの開封には牛越市長、傳刀市議会議長、宮田一男市議、元八坂村助役の勝野照治さん、元八坂村議員小林英樹さん、当時の小学生の北澤慶太さん・泉水久乃さんに地域間交流事業実行委員会の会長竹本明信さんを入れた8名にお願いして開封を行いました。

開封後はタイムカプセルの中身を地域別、学年別に机に並べ皆さんにご自身のお手紙を手にとっていただきました。懐かしい再会に話はずみで、が、ひとまず集合写真を撮って開封式を終えました。その後は八坂秋まつりを楽しんでもいただきました。



きらり話題の八坂人

曾根原千穂さんが八坂警察官駐在所勤務者協力家族表彰を受賞されました

多年にわたって駐在所に勤務している警察官と同居し、警察業務に協力援助している家族に対して本部長感謝状を贈呈

11月10日大町警察署大町八坂警察官駐在所勤務者協力家族として曾根原千穂さんが表彰されました。

曾根原千穂さんは夫の曾根原崇さんと共に10年駐在所勤務を続けてこられました。現在の八坂駐在所で4か所目になるそうです。県内様々なところで駐在所勤務を経験しましたが、八坂は出身地の松本市と言葉が、



体操教室「元笑気クラブ」のひとこま

似通っておりとても懐かし
くほっとするそうで「八坂
は自然が豊かで素晴らしい
ところですがそれよりな
により人が暖かい、フレ
ンドリーですね。受け入れて
いただける。できれば長く
住んでいたい」とおっ
しゃっていました。千穂さ
んは八坂公民館の苔玉や
クラフトバンド講座などで
地域の方とも顔なじみにな
り、体操教室「元笑気クラ
ブ」ではご夫婦でご参加い
ただいています。これから
もお二人で暖かく八坂地
域を見守っていただくよう
お願いします。

編集後記

「大阪から長野へ移住して早7年。子どもたちは素晴らしい友人と環境に恵まれ、情緒豊かに育っています。しかし、ここには都会では想像もつかない「自然の洗礼」も待ち受けていました。

特に2025年はクマの出没に八坂全体が揺れました。山中の我が家では、3歳の娘が「パパ、クマに勝てる?」と日々質問攻め。「犬でも負ける」と即答する頼りない父を、娘は本気で案じてくれます。ある日、外作業中の私に「クマ出るから帰ってきいや〜!」と叫ぶ娘の頭には、なんと可愛い「クマ耳付きフード」が……。「お前は小グマか!」と、張り詰めた緊張感も一瞬で和らぎました。

獣害や遭難など、自然と共生するための知識や覚悟も備わってきた今日この頃。冬の間は一時休戦ですが、2026年は平穏な年であることを祈りつつ、皆様もどうか「知恵ある対策」で安全にお過ごしください。

舟場自治振興会 編集委員
佐藤裕紀